2018 年度　ＦＤ活動報告

生命環境科学研究科

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要
• 大学院教育運営委員会が主体に、応用生命科学専攻内の FD 活動を実施した。 • 応用生命科学専攻で外部講師を招聘したセミナーを開催した。 • 緑地環境科学専攻では学務 WG および実習演習 WG が FD に関連する活動を検討・実施した。 • 緑地環境科学専攻では学務 WG が、海外からの招聘教員によりセミナーや、英語ポスターによる修論の中間発表を開催し、教員の参加を促すことにより、英語での授業の実践技術の向上、英語での授業の増加を図った。また、実習演習 WG が、実験・計測機器の取り扱いについて講習会を開催し、実習演習の充実に向けた技術の向上を行った。 • 「授業振り返り（授業アンケート）」への教員コメントの入力を推進した。

２　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
2018.5.9	「コレラ菌の CTX プロファージ領域の多様性について」(山城　哲・琉球大学大学院医学研究科細菌学講座)（大学院講義・獣医環境科学特別講義）	オープンセミナー	4 名
2018.6.4	「ゲノム編集って何？毒の無いジャガイモをつくる取り組み」(村中俊哉・大阪大学)	オープンセミナー	40 名
2018.7.20	「Antimicrobial resistance (AMR) in the UK」(John E Moore・Clinical Microbiologist, Northern Ireland Public Health Laboratory, Belfast City Hospital, UK)	オープンセミナー	4 名
2018.9.3	「ゲノム編集の基礎から応用まで　－ ゲノム編集で何が可能になるか？」(刑部敬史・徳島大学)	オープンセミナー	30 名
2018.10.26	Endowing Organometallic Catalysis with A Genetic Memory: Artificial Metalloenzymes (Prof. Dr. Thomas R. Ward, Department of Chemistry University of Basel, Switzerland)	オープンセミナー	15 名
2018.11.6	インドネシアにおける重要な動物感染症の病理学（Vetnizah Juniantito Laboratory of Veterinary Pathology, Department of Veterinary Clinic, Reproduction and Pathology, Faculty of	オープンセミナー	4 名

	Veterinary Medicine, Bogor Agricultural University, Indonesia)		
2018.11.9	「Yellow Vein Mosaic Virus: A continuous threat to Okra cultivation in Bangladesh」(Anowar Hossain バングラデシュ ラジシャヒ大学)	オープンセミナー	15名
2018.11.9	「アーキアの特異な代謝機構とその進化」(跡見晴幸・京大工)	オープンセミナー	9名
2018.11.15	Plant Quarantine Programs in US ― 米国における植物検疫の最新事情 (Ronald D. French・米国農務省植物検疫官)	オープンセミナー	20名
2018.11.27	「低酸素条件下で酵母細胞質内に形成される代謝酵素集合体 (G-body) の分子基盤解明に向けて／サンゴ常在菌が産生するサンゴ菌叢維持分子 Homeostatics の同定」(三浦夏子・大阪府立大学)	オープンセミナー	20 名
2019.1.25	植物ケミカルバイオロジー研究とゲノム編集への試行 (中野雄司・理化学研究所) 「栄養条件が変化した時に植物はどうやって遺伝子発現を制御しているのか。」(藤原徹・東京大学)	オープンセミナー	40名
2019.1.25	「細菌はどのように薬剤耐性を獲得するのか」(秋庭 正人・農研機構動物衛生研究部門) (大学院講義・感染症制御学特別講義C)	オープンセミナー	4名
2019.2.12	「事例に学ぶ感染症・食中毒」(飯島 義雄/神戸市環境保健研究所) (大学院講義・感染症制御学特別講義C)	オープンセミナー	4名

３　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
応用生命科学専攻内教務委員会	研究指導体制の点検、検討	1回	2名
応用生命科学専攻内教務委員会	科目ナンバリングの導入	2回	2名
応用生命科学専攻内教務委員会	シラバスの点検、検討	1回	2名

４　ＦＤ活動への各教員の参加状況

※　前項のセミナー・委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、

分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。	
教員数（実数）	8　人　／　　17　　人中（応用生命科学専攻）

５　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期			
後期			
年度合計			

６　その他取り組みの具体的実施状況